

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療事務論Ⅱ Medical coding and billing Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	メディカルークユニットを履修している学生のみ。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
請求事務演習Ⅱ、ドクターズクラーク、医療秘書演習Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療事務関連資格取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
草野 真範	講義棟1階 講師室	水曜 (講義時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
医療事務論Ⅰで学んだ内容をふまえ、①医療関連法規、②医療機関管理(カルテ管理、接遇マナー等)、③検定対策の3つの事項を主たる授業内容とし、制度の理解とその運用についての習得を図る。				
授業の目標				
①医療保険の種類と制度の違いを理解し、正しい業務を遂行できるようにする。 ②医療関連法規を理解し、患者に合わせた制度活用、診療報酬請求事務における回収業務の運用をできるようにする。 ③医療機関管理及び患者対応のスキルを習得し、ハード及びソフト面の両方から患者サービスを提供できるようにする。				
授業の方法				
講義、講演、事例検討、実技指導、ディスカッションを取り入れて、医療事務業務の知識および実践力の習得を図る。				
学習の成果(学習成果)				
医療秘書技能検定3級、医療事務技能審査試験に合格できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	・医療関連法規			
第2回目	・患者接遇と受付対応			
第3回目	・医療秘書技能検定試験 対策①			
第4回目	・医療秘書技能検定試験 対策②			
第5回目	・医療秘書技能検定試験 対策③			
第6回目	・医療秘書技能検定試験 対策④			

第7回目	・医療秘書技能検定試験 対策⑤	
第8回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策①	
第9回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策②	
第10回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策③	
第11回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策④	
第12回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策⑤	
第13回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策⑥	
第14回目	・医療事務技能審査試験（メディカルクラーク）対策⑦（試験）	
第15回目	・外部講師による講演（聴覚障害者協会）：「障害者理解と医療事務としての心がまえ」	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	14%	評価の観点と基準は以下の通り。 準備、積極性、集中力、協調性を総合的に評価する
レポート	18%	評価の観点と基準は以下の通り。（pt-ポイント） 80点以上=18pt/60点以上=12pt/60点未満=6pt/未提出=0ptへ換算する
調査報告書		
小テスト	18%	評価の観点と基準は以下の通り。（pt-ポイント） 80点以上=3pt/60点以上=2pt/60点未満=1pt/未提出=0ptへ換算し、6回の合計で18pt満点
試験	50%	評価の観点と基準は以下の通り。 S=90-100/A=80-89/B=70-79/C=60-69/D=59-0 ※評価基準への置き換えは、取得点数×0.5でpt換算し、50pt満点
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「医療従事者のための医療事務概論2015-」（株式会社メドス 草野真範著）、「メディカルドクターズクラーク1」「医療事務講座テキスト1」「医療事務講座スタディーブック1、3」「技能審査問題集」（ニチイ）、「医療秘書技能検定実問題集3級①」（土屋出版 医療秘書教育全国協議会試験委員会編）、その他：授業担当者より適宜指示または資料を配布する		
履修上の留意点・ルール		
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物の持ち込み禁止。		